

調査研究結果

	種目	発行者	教科書名
観 点	家庭	東京書籍	新編 新しい家庭 5・6 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる
取 扱 内 容	<p>○ 「A家族・家庭生活」については、家族と協力して行う家庭の仕事について考える活動や、家族との団らんを計画する活動を通して、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、日常生活の課題を解決する力を養い、家庭生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成することができるようになっている。</p> <p>○ 「B衣食住の生活」については、よごれの種類や場所に合わせたそうじの仕方について考える活動や、目的に合った袋を製作する活動を通して、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成することができるようになっている。</p> <p>○ 「C消費生活・環境」については、目的に合った選び方や買い方について考える活動や、環境に配慮しながら冬の生活を工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成することができるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「持続可能な社会へ 物やお金の使い方」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、環境や資源に配慮していることを周りの人と交流するなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>		
内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 内容の構成・排列については、第4学年までの学習を踏まえ、2学年間の学習の見通しをもたせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「食べて元気！ご飯とみそ汁」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「まかせてね 今日の食事」で栄養のバランスに加えて、いんどりや味のバランスを考えた1食分の献立の立て方について学習するなど、系統的に学習できるようになっている。「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、環境や資源に配慮した住まい方について考えるなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生活に生かすことができるように工夫されている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、「食べて元気！ご飯とみそ汁」の題材において、地域の料理の例として北海道の石狩なべが取り上げられている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「安全」「環境」「発展」などのマークや「プロに聞く！」などのコラム欄を掲載したり、大きな写真やイラストを活用したりするなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 題材ごとに「見つめよう」、「計画しよう・実践しよう」、「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3つのステップで授業が展開されるよう構成したり、学習の見通しをもつための「学習の流れ」を設けたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫されている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、全ての児童の色覚特性に適応するようデザインしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やワークシートを活用できるようにするなど工夫されている。</p>		
そ の 他			

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	家庭	開隆堂	わたしたちの家庭科 5・6
取 扱 内 容	<p>○ 「A家族・家庭生活」については、自分にできる家庭の仕事について考える活動や、地域の中でできることを計画する活動を通して、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、日常生活の課題を解決する力を養い、家庭生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成できるようになっている。</p> <p>○ 「B衣食住の生活」については、物の生かし方や不用品を減らす方法について考える活動や、生活に生かす袋を製作する活動を通して、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成することができるようになっている。</p> <p>○ 「C消費生活・環境」については、買い物をするときに集める情報について考える活動や、資源やエネルギーの使い方を工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成することができるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「持続可能な社会のために」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDG sを取り上げ、地域で行われているごみを減らすための工夫や取組を調べるなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>		
内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 内容の構成・排列については、第4学年までの学習を踏まえ、2学年間の学習の見通しをもたせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「クッキング はじめの一步」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「こんだてを工夫して」で栄養のバランスや調理の仕方、味のバランスを考えた1食分の献立の立て方について学習するなど、系統的に学習できるようになっている。「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、環境に配慮した衣服の手入れについて考えるなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生活に生かすことができるような工夫されている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、「食べて元気に」の題材において、各地に伝わるみそやみそ料理として、ちゃんちゃん焼きが取り上げられている。</p>		
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 「安全」「環境」「発展」などのマークや「キャリアインタビュー」などのコラム欄を掲載したり、学習の案内役のキャラクターを活用したりするなど、意欲的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○ 題材ごとに「気づく・見つける」、「わかる・できる」、「生かす・深める」の3つのステップで授業が展開されるよう構成したり、学習の見通しをもつための「学習のめあて」を設けたりするなど、主体的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、色覚の個人差を問わず見やすくなるように配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やワークシートを活用できるようにするなど、工夫されている。</p>		
そ の 他			